

# こんにちは 日本共産党 綾部市会議員の

# つきがしら 久美子です

大島町梶長16の12  
 ファックス 42-9558  
 携帯 090 2285 8627  
 メールアドレス  
 kumiko@xi.hoo.jp  
 ブログ  
 http://kumiko.booo.jp  
 ホームページ  
 http://www.jcp-ayabe.jp/  
 日本共産党綾部市会議員  
 団のホームページです

## 私の議会質問

## 医療・介護・防災



- 【医療】
  - 中学卒業まで通院も無料化を
  - 老人医療助成制度の存続と拡充を
  - 身体障害者手帳3級まで、医療費自己負担の無料化を
  - 高齢者のインフルエンザ予防接種自己負担は、1000円へ引き下げを。
  - 肺炎球菌予防接種の対象拡大を
- 【介護】
  - 要支援1・2の保険外しをやめて、必要なサービス保障を
  - 特養入所の制限(要介護3以上)を行わず実態に合わせて入所可能とすること
  - 介護保険料・利用料の高負担から、サービス利用抑制をさせない取り組みを
- 【防災】
  - 土砂災害・浸水区域にある避難所の対策を
  - 安心して過ごせる避難所のため、トイレ改修や発電機等の設置を
  - 避難所での「食」の重要性と学校調理室の利用許可を

### 65～74歳まで医療費負担を1割へ

老人医療助成制度(マル老)は京都府独自の制度。65～69歳までの所得税非課税世帯を対象に医療費は1割負担を実施している。ところが国の医療改悪で、70～74歳が2割負担となり逆転するため、京都府のマル老制度を廃止する方向。つまり、65歳以上は医療費2割負担になる。早期発見・治療が基本で、そのほうが医療費も少なくて済む。マル老制度廃止でなく、65～74歳まで1割負担として拡充することを府に求めるべき。

【市の答弁】京都府の「検討会議」の内容を注視したい。市独自の助成は困難。

### 中学卒業まで通院も無料に

綾部市が行った「子ども・子育てに関するニーズ調査」で、「経済的負担の軽減」を望む声が7割もあった。市も少子化対策として重要と認めている。京都府の医療費助成の拡充に合わせ綾部市で実現できないか? 京都北部で通院助成を中学卒業まで拡充していないのは綾部市と舞鶴市だけだ。

【市の答弁】京都府の推移をみて考えたい。  
 \*12月議会で、「中学卒業まで通院も無料化を求め」請願が市民から寄せられていましたが、共産党だけが賛成、他の議員は全員反対で不採択でした

### 高齢者の予防接種制度の拡充を

接種率を上げるためにも、高齢者インフルエンザワクチン接種を1000円に戻せないか。また、肺炎球菌ワクチンは、今回接種年齢が決められているが、すでに接種して5年経過している希望者も対象とすること。さらに、65歳以上の希望者全員が接種できるように市の努力を求め。

【市の答弁】インフルエンザ予防接種は、予算の中で多くの人に受けて頂くよう現行制度で続ける。  
 肺炎球菌ワクチンは、国の範囲を超えて接種には至らない。

### 身障3級まで医療費自己負担無料へ

「健康の保持と生活の安定に寄与し、福祉の増進を図る」目的で身体障害者手帳2級まで、京都府の制度として医療費自己負担無料になっている。(内科疾患は2級がない) 福知山市は4級まで、京丹波町は3級プラス一部4級まで実施している。綾部市も拡充できないか。

【市の答弁】拡充は考えず。福祉施策全体の中で検討するべき。

## 安倍首相の

# 消費税UPは「福祉のため」は大ウソだった

大企業には1.6兆円もの減税、  
軍事費は史上最大規模に

大企業にばらまくお金があるなら、  
社会保障にこそまわすべきです

### 介護保険制度の改悪から 市民を守る施策を

要支援1・2は、介護保険（ヘルパー訪問やデイサービス）から外され、市が実施する事業に移行となります。必要なサービスが提供できるよう求めました。

#### 【市の考えは】

平成29年4月までに実施するため、モデル事業（すこやかシニア教室）に取り組んでいる。生活支援サービスのモデル事業を、シニアセンターに委託している。材料費・送迎・保険・会場費などすべて込み。

#### 【搦頭】

「すこやかシニア教室」の委託単価は、1回1万5千円で、人件費・材料費・送迎・保険・会場費などすべて込み。

4月から、特別養護老人ホームは、要介護3以上でないと入所できなくなります。入所待機者の中に要介護1・2の方もおられ、必要な方は特養入所できるようにするべきと、市に求めました。

#### 【市の考え】

特養入所は、要介護3以上が基本であるが、要介護1・2でも、介護の必要度や家族状況等を勘案して特例的な入所は可能。要介護1・2で入所中の方は、継続的に入所が可能。在宅サービスの充実で入所待機者の対応をしていきたい。

#### 【搦頭】

今まで要介護判定で

この委託費で教室に専門職を配置することはむずかしい。また、食事・入浴サービスも受けられない。サービス低下は明らかだ。「要支援認定者」は、要介護状態にならないよう、専門的な支援が

必要な方々だ。【市の答弁】

介護保険のサービスが必要な人にはそのサービス提供をする。そうでない方は、ボランティア等の力を借りてサービス体制を作り上げていく。



リハビリに励む高齢者

施設入所が可能であったのは、専門職が「入所が必要」と判断してきたからだ。それを要介護3以上とする改正は本当に無茶だ。今でさえ要介護1・2は、希望しても入所がむず

4月からの制度改悪後、行き場のない方が出ないよう、市独自の対応を要望する。

かしい。今後さらに入所困難になると想像する。

### 災害復旧では

○被災した農機具の更新への補助（府）  
・耐用年数（7年）以内の農機具  
・農機具共済加入は見舞金を除いた額、未加入は半額が補助対象経費で、補助率はその3割。十〇百万円以内

○小規模治山事業  
国・府・その他補助の対象とならない山崩れの復旧工事に対して補助。  
・災害で人家に直接被害があるもの  
・補助率は事業の1/2以内50万円まで

\*今回の被災者には市が確認して交付準備をしているとのことでした。  
どの補助対象にもならない山崩れも多く、市独自支援を強く求めました。  
○被災者住宅支援事業  
住宅が全壊の場合、三百万円の補助があるが、解体・新築がセットでない補助が出ない。「解体」を切り離して使えるよう要望しました。

介護保険料・利用料の負担が重く、「介護サービスが利用できない」ということがないようにと、市に求めました。  
ところが、2月10日の「高齢者対策推進協議会」で提案された介護保険料は、基準額で一ヶ月約1000円の引き上げが提案されました。3月議会で可決すると、実施されます。\*左表参照

【市の考え】

26年度の介護保険料で、市民税非課税世帯および、本人非課税の割合が64.8%で、保険料の基準額以下の方が多くと認識している。市のアンケートで、保険料負担感について、一般高齢者で「負担が大きい」が32.4%。要介護認定者では16.3%の結果だった。多くの方が負担感を持っていることは認識している。しかし、介護保険のしくみとして、65歳以上・40歳以上・国・府・市の負担割合が決まっており、さらなる軽減策はとれない。

【私の質問】

市のアンケートで、経済状況を尋ねる質問

では「苦しい・やや苦しい」が60%を超えている。要介護認定者では国民年金受給者が50%。国民年金の平均受給額は一ヶ月5万円であり、経済的なゆとりはない。  
高齢者の声は、「年金は減る一方なのに、

提案された4月からの介護保険料(案)

介護保険料 (案) 平成27～29年			
	所得段階	月額	年額
非課税世帯	第1段階	3,101	37,220
	第2段階	4,342	52,110
	第3段階	4,652	55,830
課税世帯	第4段階	5,272	63,270
	第5段階	6,202	74,430
	第6段階	7,443	89,320
	第7段階	8,373	100,490
	第8段階	10,544	126,540
	第9段階	11,474	137,700
	第10段階	11,784	141,420
	第11段階	12,715	152,590
	第12段階	14,575	174,920
	第13段階	14,885	178,640

介護保険料など、差し引かれる金額は増えていく……」とよく言われる。  
国は消費税増税とともに、低所得者の保険料を引き下げると言っているが、消費税に頼らず、保険料引き下げを実施できる財源を交付するべき。  
市として、国庫負担割合を引き上げることや要望するべき。他市のように、低所得者の保険料割合を低くすることで、軽減策を講じることが求めました。



昨年、福知山水害後の炊き出しボランティアに参加しました。

- 災害時避難所について
- ①設置場所の安全確保
  - ②発電機など環境整備
  - ③「食」の重要性と調理室の開放
- など、安心して過ごさせる避難所を求めました。

①土砂災害警戒区域、浸水想定区域に該当する避難所とその対策は？

【答弁】綾部・中筋地区は土砂災害の指定は今後。それ以外では、土砂災害警戒区域内に33施設ある。そのうち黒谷・八代・篠田・古和木の各公民館と五泉荘は対策工事了。位田の浄泉寺、井根公会堂、老富会館は事業を進めている。また、浸水想定区域内には14施設ある

が、改修等の計画はない。  
②夜間の停電対応として発電機は必要。防災畳や間仕切りなど配備状況は？

【答弁】市所有の発電機は4台だけ。女性用更衣室、防災畳、毛布・水・米などを備蓄。

③東北ボランティア、福知山水害避難所ボランティアを通して、被災者が心身ともに疲れていることを強く感じた。医療・保健チームの巡回と温かい食事が必要。学校等の調理室解放の調整は？

【答弁】避難者の健康状態は懸念される。市の保健師訪問と医師会にも要請したい。  
長期の避難が想定される場合には給食調理室の活用も想定せねばならない。

家庭科調理室や公民館の調理室は活用可能で、事前の準備は必要と考えている。

【搦頭】

現在、学校給食未実施の綾部中学、八田中学に、避難所機能を高めるため、防災関連の補助金も活用して、給食調理室を設置、学校給食の開始ができないか。

【答弁】両校の学校給食については検討中だ。

# 下記の願い届かぬ議会 ○集団的自衛権に反対 ○中学まで通院も無料に ○教育費負担の軽減を

## 憲法9条生かし 平和を守ります

「集団的自衛権」とは、日本が攻撃を受けなくても、アメリカが行う戦争に参加すること。つまり自衛隊が派兵されるといふことです。

日本共産党は、紛争はあっても戦争にはさせず、話し合いで解決する枠組みを提唱、行動します。綾部市議会では、「憲法改正を求める

## 子育てしやすい町づくりへ 応援します

「中学校卒業まで通院も無料にしてほしい」という願いに、異議を唱える人はないと思います。

綾部市議会の産業厚生環境委員会で、この内容の請願が提出され、私は紹介議員として趣旨説明しました。ところが、質問も、意見も一言も述べずに共産党の2人を除く全員が「反対」されました。綾部市議会基本条

例は、議員間で議論を尽くすことが議員の役割と決めています。理由も述べずに反対という態度は、前代未聞です。

教育環境の改善や、教育費の保護者負担軽減の請願に対して、共産党を除く全議員は、「賛成する必要はない」という



意見書」を日本共産党以外の賛成で提出してしまいました。また「集団的自衛権行使に反対」の趣旨の請願が、市民14団体から提出されましたが、共産党だけの賛成、他の全議員反対で採択されませんでした。

反対討論をされました。

請願内容は切実な願いです。実現のため引き続きがんばります。

## 義母のこと

一月に、同居の義母が89歳で亡くなりました。二〇年ほど前、重度の心筋梗塞をおこし、以降、協立病院で診てもらっていましたが、今回は大腿骨頸部骨折で手術、リハビリ中のこと、心筋梗塞の再々発作で、あの世へ逝ってしまいました。



おばあちゃんが手入れして咲いた月下美人

義母は、若い頃は神業に勤めていたそうで、ちょうど戦時中？糸を紡いで、出てくる蚕さんの幼虫がご馳走であったという話も聞きました。戦争を体験し、夫と早くに死別し、苦労してきた人生だったと思います。

私は看護師として夜勤もしながら働いていましたので、3人の子供たちを育て、

読書が好きで、佐伯泰英著「白鶴ノ紅」が途中までしか読めていません。「おばあちゃんにお供えしたげ」と、続編を頂きました。

朝夕、なれない般若心経を唱えながら、「一日一日を大事に過ごさないと、人生すぐ終わってしまうな」と感じる今日この頃です。